

指定管理者に関する第三者評価シート

1 施設の概要

(評価実施年度：平成 30 年度)

| | | | | | | | |
|--------------------|--|--------|--------------|---|----|----|--|
| 施設の名称 | 旧河澄家 | 指定期間 | 27 | 年度～ | 31 | 年度 | |
| | | 選定方法 | 公募 | | | | |
| | | 指定管理者名 | 株式会社アスウェル | | | | |
| 所管部課名 | 社会教育部文化財課 | 評価機関名 | 株式会社ブレインファーム | | | | |
| 施設の設置目的 | 郷土の文化財を広く市民の利用に供し、市民の郷土理解と文化的向上に資するため。 | | 主な事業 | 旧河澄家の民族文化財に関する資料の保存及び公開に関すること 生駒山麓歴史探訪の道の案内及び休憩の場の提供に関すること 体験学習等を実施すること | | | |
| 設置時期 | 平成 | 23 | | 年度 | | | |
| 主な料金体系 (有料・無料等) | 入館無料。施設使用有料。 | | | | | | |

2 管理運営状況等

| 年度 | 実績 | | | | | | 今年度(予算) | | 次年度(見込) | | | | | | |
|--------------|----------|-------|--------|-------|--------|---------|---------|----|---------|----|--------|----|----|----|----|
| | 平成 | 27 | 年度 | 平成 | 28 | 年度 | 平成 | 29 | 年度 | 平成 | 30 | 年度 | 平成 | 31 | 年度 |
| 供用(開館)日数 | | 300 | | 304 | | 306 | | - | | - | | | | | |
| 収支状況 (千円) | 収入総額 | | 15,842 | | 15,942 | | 16,403 | | 17,074 | | 17,581 | | | | |
| | 指定管理者委託料 | | 15,841 | | 15,942 | | 16,403 | | 16,718 | | 17,207 | | | | |
| | 利用料金収入 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | | | |
| | 自主事業収入 | | 1 | | 0 | | 0 | | 356 | | 374 | | | | |
| | その他収入 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | | | |
| | 支出総額 | | 15,984 | | 16,105 | | 17,473 | | 17,053 | | 17,559 | | | | |
| | 人件費 | | 12,028 | | 12,551 | | 12,635 | | 12,549 | | 12,918 | | | | |
| | 施設維持管理費 | | 1,182 | | 1,224 | | 1,367 | | 1,769 | | 1,829 | | | | |
| | 事業費 | | 1,427 | | 982 | | 1,211 | | 1,600 | | 1,667 | | | | |
| | その他支出 | | 1,347 | | 1,348 | | 2,260 | | 1,135 | | 1,145 | | | | |
| 収支差額 | | △ 142 | | △ 163 | | △ 1,070 | | 21 | | 22 | | | | | |

3 第三者評価の総括

仕様書等の基準を超えて優良な場合は「S」
 仕様書等の基準通り実施された場合は「A」
 仕様書等の基準を下回り、一部に不備が見られる場合は「B」
 管理運営上不適切な部分があり、改善が必要な場合は「C」

| 評価の観点 | 第三者評価(評価できる点や要改善事項) | | | |
|--------------------------------|---|---|--|----------------------------|
| | 個別評価 S A B C | 指定管理者に対する 主な意見 | 施設担当課に対する 主な意見 | |
| 有効性 施設の設置目的が十分に達成出来たか？ | S | 設置目的に沿った指定管理事業が適切に実施されている。施設の特性に合う体験型のイベントを多く開催したり、歴史漫画を展示することにより、郷土や地域の歴史への興味を啓発し、サービス向上への取組みが行われている。市の広報物や町内掲示板を活用し、多様な方法で広報活動を行うとともに、大学や市民と積極的に連携を行い、従来のやり方にとらわれない新しい視点を取り入れた企画展示やイベントを多数展開することによって施設利用者数を増加させていることは評価できる。 | 施設の設置目的の達成に向けた取組みが今後も継続して実施されるよう定期的な確認が望まれる。 | |
| 効率性 経費の低減等の効果があったか？ | B | イベントで使用する綿や野菜を施設内で育成するなどし、コストの削減への取組みなどを行っていることは評価できる。一方、イベント数の増加に伴い経費も増加していることより、イベント時は市民ボランティアを募るなどして更なる経費の低減に努めることが望まれる。過去3年収支マイナスとなっているため、黒字化できるよう一層の努力が求められる。 | 経費の低減を図る取組みを行うことが望まれる。また、指定管理事業と自主事業を協議の上取り決めるなどし、収入増に寄与することも望まれる。 | |
| 適正性 公の施設に相応しい適正な管理運営が行われたか？ | A | 協定書や仕様書等に沿って適切に管理運営が行われている。防犯や防災、事故防止への取組みも適正に行われている。個人情報保護や情報セキュリティについても概ね適正に管理されている。 | 適正な管理運営が今後も継続されるような定期的な確認が望まれる。 | |
| 継続性 | 財務状況 財務健全性が確保され、適正な会計処理が実施されているか？ | A | 指定管理者としての財務の健全性については問題ない。会計処理についてもルールに基づき運用されている。 | 引き続き事業報告書などで財務状況を確認して頂きたい。 |
| | 労務管理状況 職員の労働環境整備に向けた適切な取組みが実施されているか？ | A | 労務管理は適正に実施されている。 | 労働環境は適切に整備されていると判断する。 |
| 今後期待される点や その他特記事項 | 最終評価 A | 事業内容や広報を工夫し、着実に利用者数を伸ばしていることは高く評価できる。今後はボランティア団体との連携を進め、地域に密着した事業展開や効率的な運営が期待される。 | | |